

法蔵 351号 九月号

・順信寺の予定

* 大掃除 9月3日(木) 午前8時30分より、報恩講に向けて順信寺の大掃除を予定しております。御門徒の皆様の御協力をお願い申し上げます。

* 報恩講 9月12日(土) 午後1時30分より 大逮夜 法話
午後4時より 歎異抄拝読
初夜勤行 法話
9月13日(日) 午前7時30分より 尋朝 法話
午前10時30分より 御満座 法話
お齋(お持ち帰りいただきます)

布教使 黒萩昌師(蘭越町 法誓寺)

～ 今年はなんとか上記の日程で勤めたいと思います。しかし、新型コロナウイルス感染状況により日程が変更することがあるかもしれませんので、御理解いただきますようお願い申し上げます。

* 秋彼岸会法要 9月23日(木) 午後1時より
(お彼岸は20日から26日までです。)

* 親鸞聖人ご命日のお参り 9月28日(火) 午後1時より

* 定例法話会 10月12日(火) 午後0時より お話していただく布教使さんは、まだ決まっていません。ご一緒に仏法聴聞ぶつぽうちようもんさせていただきますよう！！ お待ちいたしております。

『この一椀いちわん

我にささぐ 無数の手 見ゆるがごとし いただきて 喰ぶ』

(米澤英雄)

○ 今年の夏は、雨が降らず、大変暑い日が続きました。それに対して本州では雨が続きました。気象が極端になっているようです。歌登も何時何があるか分からないと思います。歌登は大丈夫だとは言っていないのかもしれませんが。心しておかなければならないと思います。

また暑い日が続きました。身体も疲れていると思いますので、十分な休息と栄養を取りましょう。

○ 8月5日午後1時より、新型コロナウイルス感染対策をして、順信寺の仏具磨きが行われました。ありがとうございました。ピカピカの仏具でお盆のお参りをさせていただきました。ご協力いただいた方々は以下の方です。順不同で発表をもってお礼に代えさせていただきます。山本多美子さん、山川幸子さん、黒田キヨ子さん、鳥羽澄子さん、野口恵美子さん、西野寿子さん、木村富美子さん、駒形直美さん、西沢恵津子さん、吉田道子さん、村田妙子さん、岡部節子さん、金子信子さん、禿優子、禿和枝、禿朋隆。来年もまたよろしく願いいたします。

『・・・「恩」、これは元のインドの言葉は「カンタンニュー」といいます。・・・(略)・・・つまり「我がために為されたことを知る」。私のためになされた様々に思いをいたし、きちんと知るということが「恩」の元のインドの言葉にさかのぼった意味なのです。「恩」という漢字も、上半分は、原因の「因」ですね。私がここに座っているということが成り立つためには、私のことをここまで育ててもらったということなど、過去に多くの様々な因があるわけです。それを「心」で受け止めるということなのです。』 (真城義麿)

～ 真城先生は、「私のために、私のことを」ということを言っておられます。阿弥陀なる世界も私のために、あったというのが親鸞しんらんしょうにん聖人の世界であると思います。九月は報恩ほうおんこう講そしてお彼岸と続きます。南無阿弥陀仏の呼びかけに出遇かたまりいたいと思います。それは、不平不満の塊、文句一杯の根性の自分に出遇うことであると思います。

『「念仏」という字は、「今」に「心」をおいて
「仏」とともに生きると書きます。』

(梶原敬一)

～ 永遠に生きるのではなく、永遠の今を生きるのだと。言われた方がおられましたが、永遠の時を感じ、自分の罪に目覚めて生きることが出来たら、その時に同時に素晴らしい世界が開けるのではないのでしょうか。

・忠峰コーナー

「寺にれの楡 高さ無き分 良く茂り」

「コンビニの 前にかたまる バイク族」